

ようこそ、美的好奇心の世界へ。当館学芸員のご案内します。

2023年度 美術鑑賞講座



定員165名（申込不要・先着順） 当館講堂にて 参加無料 各回14:00~15:30（13:30開場）

月日	テーマ	おはなし
5/20 (土)	橋本龍美の世界 一神も、庶民も、バケモノも 橋本龍美は、独学によって日本画家になりました。お手本になったのは、伝統的な日本美術の手法や同時代の美術、そしてかつての日本のサブカルチャーの要素も。「異色」といわれたユーモアあふれる龍美の作品について解き明かします。 関連する展覧会：企画展「望郷の画家 橋本龍美展 一神も、庶民も、バケモノも」 4月15日～6月4日	宮下 東子 (当館学芸員)
5/27 (土)	いつか見たい 日本画家・横山操の傑作 30選 戦後日本画壇の風雲児と呼ばれた横山操。県外所蔵の作品、所在不明の作品、壁画など、展覧会ではなかなか見ることのできない作品を多数紹介し、画家の全貌に迫ります。 関連する展覧会：コレクション展「没後50年 横山操展」 4月11日～6月18日	長嶋 圭哉 (当館学芸員)
7/29 (土)	デザインって何？ 2023 「デザイン」という言葉はよく耳にしますが、これが指し示す内容は実に多岐に渡っています。本講座では「デザイン」の意味について、19世紀末から2023年現在の事例まで、わかりやすく紹介します。 関連する展覧会：企画展「華麗なるパリ ベル・エボック展 -フランス・モダン・ポスター-」 7月1日～8月27日	藤田 裕彦 (万代島美術館長)
8/19 (土)	ロートレックと世紀末のポスター 画家人生で初めて作ったポスター《ムーラン・ルーシュ、ラ・グーリュ》がパリの街角に貼り出されるやいなや大評判となり、ロートレックの名は一躍有名になりました。ロートレック芸術の真骨頂であるポスターの魅力に迫ります。 関連する展覧会：企画展「華麗なるパリ ベル・エボック展 -フランス・モダン・ポスター-」 7月1日～8月27日	平石 昌子 (当館学芸員)
10/7 (土)	武石弘三郎の作品を訪ねる 中之島村長呂（現長岡市）出身の彫刻家・武石弘三郎は、ベルギー留学から帰国後、晩年に至るまで肖像彫刻やモニュメントの制作にたずさわりました。現地でしか見ることのできない作品も多く、スライドで現存作品を訪ねながら、武石の仕事を紹介します。 関連する展覧会：企画展「ベルギーと日本 一光をえがき、命をかたどる」 9月16日～11月12日	伊澤 朋美 (当館学芸員)
10/28 (土)	異国に渡った新潟ゆかりの画家たち 露谷虹児や土田麦僊ら新潟ゆかりの画家たちを取り上げ、異国に渡った経験が画業にもたらした影響を探ります。 関連する展覧会：コレクション展「異国に渡った芸術家たち」 9月12日～12月17日	飯島 沙耶子 (当館学芸員)
1/27 (土)	企画展より 白髪一雄と同時代の作品を見る。 「尼崎市コレクション：白髪一雄」に関連して、自身が参画したO会や、具体美術協会での出品作など、白髪の作品を通覧するとともに、同時代の他作家による、熱き思いのたぎる抽象絵画の表現を鑑賞します。 関連する展覧会：企画展「尼崎市コレクション 白髪一雄」 1月13日～2月25日	松矢 国憲 (当館学芸員)

- ・今年度から事前申込は不要となりましたので、ご希望の方は会場に直接お越しください。参加される際に、氏名・連絡先のご記入をお願いする場合があります。
- ・今後の状況により変更がある場合は、当館HPにてお知らせしますので、ご確認ください。
- ・当日はマスク着用をお願いします。